

加水分解アコヤ貝エキス	本品は、アコヤガイを酵素により分解して得られるエキスである。
加水分解アコヤ貝糖タンパク	本品は、アコヤガイの粘液を酵素により分解して得られる糖タンパク分解物である。
加水分解(アスペルギルス/サッカロミセス)/オオムギ発酵エキス液	本品は、オオムギの全草を基質として、真菌と酵母により発酵したもののエキスをろ過して得られる液を加水分解して得られるものである。
加水分解アナツバメ巣	本品は、アナツバメ又は同属のツバメ類の巣窟を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解アナツバメ巣エキス	本品は、アナツバメ巣エキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解アマ種子エキス	本品は、アマの種子のエキスを加水分解して得られたものである。
加水分解アマランスタンパク	本品は、アマランスタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解アメリカズカケノキエキス	本品は、アメリカズカケノキのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解アルゲエキス	本品は、アルゲエキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解イナゴマメ種子エキス	本品は、イナゴマメの種子のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解イネ葉エキス	本品は、イネの葉を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるエキスである。
加水分解ウシ血清	本品は、ウシの血清を酸又は酵素で加水分解後、グリセリンで抽出したものである。
加水分解ウツボグサエキス	本品は、ウツボグサの地上部のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解オオバアオサエキス	本品は、オオバアオサのエキスを加水分解した物である。
加水分解オクラ種子エキス	本品は、オクラの種子のエキスを酸、アルカリ、酵素などで加水分解して得られたものである。
加水分解オタネニンジンサポニン	本品は、ニンジン根を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるサポニンである。
加水分解オープンチアフィクスインジカ花エキス	本品は、の花のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解オリーブ果実エキス	本品は、オリーブの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解オリーブ葉エキス	本品は、オリーブの葉のエキスを酸、酵素又はその他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解オリザノール	本品は、オリザノール(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解オレンジ果実エキス	本品は、オレンジの果実のエキスを酸、酵素又はその他の方法で加水分解したものである。
加水分解カイメン	本品は、カイメンを酸、酵素又はその他の方法により加水分解して得られたものである。
加水分解カイメンエキス	本品は、カイメンのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カキエキス	本品は、オイスターエキス(*)を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解カゼインNa	本品は、加水分解カゼイン(*)のナトリウム塩である。
加水分解ガディダエタンパク	本品は、タラ科の魚の皮を酸、酵素、その他の方法により加水分解して得られるタンパクである。
加水分解カラギーナン	本品は、カラギーナン(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カラスムギ	本品は、カラスムギを酸、酵素又は他の方法により加水分解したものである。
加水分解カラスムギ粉	本品は、カラスムギ穀粒(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カラスムギタンパク	本品は、カラスムギタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カロペプチド	本品は、骨格筋を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カンジダサイトアナエキス	本品は、酵母の一種のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解カンジダボンビコラエキス	本品は、酵母のエキスを酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解キシラン	本品は、キシランの酵素分解物である。
加水分解キノア種子	本品は、キノアの種子を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られたものである。
加水分解キビ	本品は、キビの種子を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解キビ種子エキス	本品は、キビの種子のエキスを酸、酵素及び他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解魚卵	本品は、魚の卵を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られたものである。
加水分解ギンバイカ葉エキス	本品は、ギンバイカの葉のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解グアーガム	本品は、グアーガム(*)に納豆菌を植菌、培養して産生される酵素により、グアーガムを加水部分解して得られるものである。
加水分解ココ果実エキス	本品は、ココの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解クチナシエキス	本品は、クチナシを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるエキスである。
加水分解クマザサエキス	本品は、クマザサの葉のエキスを酸、酵素又はその他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解クランベリー果実/葉エキス	本品は、クランベリーの果実、葉のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解クルイベロミセスエキス	本品は、クルイベロミセスエキス(*)を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解クロレラエキス	本品は、クロレラのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ケイトウ花/種子エキス	本品は、ケイトウの花及び種子のエキスを酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解血清タンパク	本品は、血清タンパク(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。

加水分解ゲットウ	本品は、ゲットウを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ケラチン	本品は、ケラチンを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ケラチンエチル	本品は、加水分解ケラチン(*)のエチルエステルである。
加水分解紅藻エキス	本品は、紅藻エキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解酵母	本品は、酵母(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解酵母エキス	本品は、酵母エキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解酵母タンパク	本品は、酵母タンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解コーンスターチ	本品は、コーンスターチ(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解コショウ果実エキス	本品は、コショウの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解ゴマ種子	本品は、ゴマの種子を酸、酵素、その他の加水分解の方法により得られたものである。
加水分解コムギ	本品は、小麦粉(*)を酸、酵素又はその他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解コムギグルテン	本品は、コムギグルテンを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られたものである。
加水分解コムギタンパク	本品は、小麦たん白を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解コムギデンプン	本品は、コムギデンプン(*)を酸、酵素又は他の方法によって加水分解したものである。
加水分解コメエキス	本品は、コメ <i>Oryza sativa</i> の種子の水抽出物をタンパク分解酵素により処理したものである。
加水分解コメタンパク	本品は、酸、酵素又は他の加水分解の方法によって得られるコメタンパクの加水分解物である。
加水分解コメヌカエキス	本品は、コメヌカ(*)の水抽出物をタンパク分解酵素により処理したものである。
加水分解コメヌカタンパク	本品は、コメヌカタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解コラーゲンエチル	本品は、加水分解コラーゲン(*)のエチルエステルである。
加水分解コラーゲンヘキサデシル	本品は、加水分解コラーゲン(*)とヘキサデシルアルコールのエステルである。
加水分解コリアンダー果実エキス	本品は、コリアンダーの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解コンキオリン	本品は、アコヤガイの真珠層に含まれるコンキオリン(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解コンニャク根	本品は、コンニャクの根を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解サンゴ	本品は、サンゴを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解サンゴモ	本品は、サンゴモを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解サンシキスミレエキス	本品は、サンシキスミレの全草のエキスを酸、酵素又はその他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解サンショウ種子エキス	本品は、サンショウの種子のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解シンシブリウムイリオ種子油粕	本品は、から得られる種子油粕を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
(加水分解シルク/PG- $\alpha$ -プロピルメチルシランジオール)クロスポリマー	本品は、(ジヒドロキシメチルシリルプロポキシ)ヒドロキシプロピル加水分解シルク(*)を加水分解テトラエトキシシランと加水分解アルキル(C6-10)トリエトキシシランの縮合物で架橋したものである。
(加水分解シルク/PG- $\beta$ -プロピルメチルシランジオール)クロスポリマー	本品は、(ジヒドロキシメチルシリルプロポキシ)ヒドロキシプロピル加水分解シルク(*)を加水分解テトラエトキシシランと加水分解アルキル(C6-10)トリエトキシシランの縮合物で架橋したものである。
加水分解シルクエチル	本品は、加水分解シルク(*)のエチルエステルである。
加水分解シロガラシ種子エキス	本品は、シロガラシの種子のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解シロキクラゲ多糖体	本品は、シロキクラゲ多糖体(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解シロバナルーピンタンパク	本品は、シロバナルーピンの種子タンパクの加水分解物である。
加水分解水添デンプン	本品は、加水分解デンプンを水素添加して得られるものである。
加水分解スクレロチウムガム	本品は、スクレロチウムガム(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解スサビノリ	本品は、紅藻類の一種 スサビノリを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解セイヨウカジカエデ葉タンパク	本品は、セイヨウカジカエデの葉から得られるタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解セリシン	本品は、セリシン(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解セルシジウムフロリダム樹皮	本品は、の樹皮を酸、酵素又はその他の方法で加水分解したものである。
加水分解ダイオウ根エキス	本品は、ダイオウの根のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解タイガーブラウンエキス	本品は、クルマエビの一種のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ダイズエキス	本品は、ダイズのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ダイズ繊維	本品は、ダイズの繊維を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解チェストナッツエキス	本品は、ヨーロッパグリの葉のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解チェリモヤ果実エキス	本品は、チェリモヤの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解チャ葉	本品は、チャ葉を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ツクサ花/葉/茎エキス	本品は、ツクサの花、葉及び茎のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解したものである。

加水分解デンプン	本品は、サツマイモ、キャッサバ、ジャガイモ又はトウモロコシから得られるデンプンを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解トウモロコシタンパク	本品は、トウモロコシたん白を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解トサカ	本品は、ニワトリのトサカのタンパク分解酵素で分解して得られるものである。
加水分解トサカエキス	本品は、トサカエキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解トマト皮	本品は、トマトの皮を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ノグelm果実エキス	本品は、ノグelmの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解パール	本品は、真珠を酸、酵素又はその他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解バオバブエキス	本品は、バオバブの葉を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるもののエキスである。
加水分解バオバブ葉エキス	本品は、バオバブの葉のエキスを酸、アルカリ、酵素などで加水分解して得られたものである。
加水分解バクガエキス	本品は、バクガエキス(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られたものである。
加水分解ハチミツ	本品は、ハチミツ(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ハチミツタンパク	本品は、ハチミツから得られるタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解バレイショタンパク	本品は、バレイショたん白を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解バンブサアルンジンナセアエキス	本品は、スパイニーバンブー <i>Bambusa arundinacea</i> のエキスを酸、酵素又はその他の方法で加水分解したものである。
加水分解ヒアルロン酸	本品は、ヒアルロン酸(*)を酸、酵素又はその他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解ヒアルロン酸 Na	本品は、ヒアルロン酸Na(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ヒアルロン酸亜鉛	本品は、加水分解ヒアルロン酸(*)の亜鉛塩である。
加水分解ヒカゲノツルニンジン根エキス	本品は、ヒカゲノツルニンジンの根のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ヒトデエキス	本品は、ヒトデのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ヒメガマ花粉/根エキス	本品は、ヒメガマの花粉及び根を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるもののエキスである。
加水分解ヒメコウジ油	本品は、ヒメコウジの葉から得られる精油を加水分解したものである。
加水分解ヒラアオノリ	本品は、緑藻類の一種、ヒラアオノリを酸、酵素、その他の方法で加水分解したものである。
加水分解ファーセララン	本品は、ファーセラランを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解フィブロイン	本品は、フィブロイン(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解フクスベシクロススタンパク	本品は、褐藻類の一種のタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ブドウ果実	本品は、ブドウの果実を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解プロアントシアニン	本品は、プロアントシアニンを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ペポカボチャ種子油粕	本品は、ペポカボチャから得られる種子油粕を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ヘモグロビン	本品は、ヘモグロビンを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ホホバエステル	本品は、ホホバエステル(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ホホバタンパク	本品は、ホホバから得られるタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ポリアクリロニトリル	本品は、ポリアクリロニトリルを部分加水分解して得られるものである。
加水分解ポリγ-グルタミン酸K	本品は、ポリγ-グルタミン酸カリウムを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解マダケ	本品は、マダケを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解マンゴスチン果実エキス	本品は、マンゴスチンの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ミツロウ	本品は、ミツロウ(*)を酸、酵素、又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ムコ多糖	本品は、主としてグルコサミン(*)及びグルクロン酸(*)からなる、動物の結合組織を加水分解して得られる多糖類の混合物である。
加水分解綿実タンパク	本品は、綿実から得られるタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解野菜タンパク	本品は、野菜タンパクを酸、酵素、又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解野菜タンパクPG-プロピルシラントリオール	本品は、次の化学式で表されるシロキサン化合物である。
加水分解ユウガオ果汁	本品は、ユウガオの果汁を酸、酵素、その他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解ユーグレナエキス	本品は、ヒメドリムシのエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ライチー果実エキス	本品は、ライチーの果実のエキスを酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解ライムギ胎座エキス	本品は、ライムギの胎座のエキスを酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解卵殻膜	本品は、卵殻膜(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解リゾビアンガム	本品は、リゾビアンガム(*)を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解レチクリン	本品は、動物結合組織のレチクリン部を酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解レビジウムメイニ根	本品は、の根を、酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。

加水分解ローヤルゼリーエキス	本品は、ローヤルゼリーエキス(*)を酸、酵素又は他の方法で加水分解して得られるものである。
加水分解ローヤルゼリータンパク	本品は、ローヤルゼリー(*)から得られるタンパクを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
加水分解ロラインプレキサエキス	本品は、のエキスを酸、酵素又は他の方法により加水分解して得られるものである。
カゼインNa	本品は、カゼイン(*)のナトリウム塩である。
カゼインアンモニウム	本品は、カゼイン(*)のアンモニウム塩である。
カタラーゼ	本品は、動物、植物、細菌又はカビ由来の酵素である。
カラスムギアミノ酸	本品は、カラスムギタンパクを完全加水分解して得られるアミノ酸混合物である。
カラスムギ穀粒油	本品は、カラスムギの穀粒から得られる脂肪油である。
カラスムギ穀粒	本品は、カラスムギの穀粒である。
カラスムギ穀粒エキス	本品は、カラスムギの穀粒のエキスである。
カラスムギ穀粒タンパク	本品は、カラスムギの穀粒より得られるタンパクである。
カラスムギタンパクエキス	本品は、カラスムギから得られるタンパクのエキスである。
カラスムギデンプン	本品は、カラスムギから得られるデンプンである。
カラスムギふすまエキス	本品は、カラスムギのふすまのエキスである。
カラスムギペプチド	本品は、カラスムギのタンパクから膜分離して得られるペプチド画分である。
カラスムギワラエキス	本品は、カラスムギのわらのエキスである。
カラヤガム	本品は、カラヤゴムノキから得られる樹脂である。
カルボキシメチルキチン	本品は、キチン(*)のカルボキシメチル誘導体である。
カルボキシメチルキトサン	本品は、キトサン(*)をカルボキシメチル化したものである。
カルボキシメチルキトサンサクシナミド	本品は、キトサンサクシナミド(*)のカルボキシメチルエーテルである。
カルボキシメチルキトサンミリスチン酸	本品は、カルボキシメチルキトサン(*)とミリスチン酸(*)の反応生成物である。
カルミン	本品は、コチニール(*)のアルミニウムレーキである。
乾燥鶏卵	本品は、鶏卵の全卵の乾燥物である。
乾燥乳	本品は、牛乳(*)を脱水して得られる固形物である。
カンテン	本品は、マクサ、その他同属植物又は諸種の紅藻類から得た粘液を凍結したものである。
キウイ果実	本品は、キウイの果実である。
キサントフィル	本品は、卵黄、イラクサ、藻類及び黄色の花弁より得られるカロチノイドアルコールである。
キトサンCa	本品は、キトサン(*)のカルシウム塩である。
キトサンPCA	本品は、キトサン(*)とピロリドンカルボン酸(PCA(*))の塩である。
キトサンPCA(パルミタミド/サクシナミド)	本品は、キトサンPCA(*)とパルミチン酸無水物、コハク酸無水物との反応生成物である。
キトサンアスコルビン酸	本品は、キトサン(*)とアスコルビン酸(*)の塩である。
キトサングリコール酸	本品は、キトサン(*)のグリコール酸塩である。
キトサンサクシナミド	本品は、キトサン(*)のモノコハク酸アミドである。
キトサン乳酸	本品は、キトサン(*)の乳酸塩である。
キトサンヒドロキシプロピルトリモニウムクロリド	本品は、次の化学式で表される4級アンモニウム塩である。
キトサン(ラウラミド/サクシナミド)	本品は、キトサンサクシナミド(*)とラウリン酸無水物の反応生成物である。
キトサンラウロイルグリシン	本品は、N-ラウロイルグリシンとキトサン(*)との反応生成物である。
キャビアエキス	本品は、チョウザメの卵のエキスである。
牛乳糖タンパク	本品は、牛乳(*)より得られるκ-カゼインをレンニンで加水分解して得られるたん白である。
魚油	本品は、魚から得られる油である。
クオタニウム-79加水分解コムギタンパク	本品は、次の化学式で表される4級アンモニウム塩である。
クオタニウム-76加水分解コラーゲン	本品は、次の化学式で表される4級アンモニウム塩である。
クオタニウム-79加水分解シルク	本品は、次の化学式で表される4級アンモニウム塩である。
クオタニウム-79加水分解ダイズタンパク	本品は、次の化学式で表される4級アンモニウム塩である。
クマリン	本品は、次の化学式で表される芳香族ラクトンである。
グリコーゲン	本品は、D-グリコピラノース残基を持つ分岐した高分子ポリマーであり、細胞原形質に存在する。
グリコシルトレハロース	本品は、デンプン加水分解物の還元末端をグリコシルトランスフェラーゼでα-1, 1結合させて得られるものである。

クルミ種子油	本品は、ペルシアグルミ又はその他近縁植物の種子の油である。
グレープフルーツ果汁	本品は、グレープフルーツの果汁である。
クロレラ	本品は、球状単細胞緑藻クロレラの乾燥物である。
血清タンパク	本品は、血漿から得られるタンパク又はタンパク分画である。
ケラチン	本品は、毛髪、羊毛、角、爪又は他の類似の動物組織から得られるタンパクである。
ココイル加水分解コムギタンパク Na	本品は、ヤシ油脂肪酸クロリドと加水分解コムギタンパク(*)との縮合物のナトリウム塩である。
ココイル加水分解コムギタンパク K	本品は、ヤシ脂肪酸クロリドと加水分解コムギタンパク(*)との縮合物のカリウム塩である。
コムギグルテン	本品は、コムギより得られるグルテンである。
コムギグルテンエキス	本品は、コムギから得られるグルテンのエキスである。
小麦粉	本品は、コムギの胚乳の粉末である。
小麦粉エキス	本品は、小麦粉(*)のエキスである。
小麦粉脂質	本品は、小麦粉(*)から得られる脂質である。
コムギ種子エキス	本品は、コムギの種子のエキスである。
コムギタンパク	本品は、コムギの種子より得られるタンパクである。
コムギデンプン	本品は、コムギの胚乳から得られるデンプンである。
コムギ胚芽タンパク	本品は、コムギの胚芽より得られるタンパクである。
コムギ胚芽油	本品は、コムギ胚芽(*)から得られる脂肪油である。
コムギ葉エキス	本品は、コムギの葉のエキスである。
コムギフスマ	本品は、コムギの種皮、外胚乳、胚芽などの粉末である。
コムギフスマエキス	本品は、コムギフスマ(*)のエキスである。
ゴムラテックス	本品は、ゴムノキから得られる樹液である。
初乳	本品は、哺乳類の分娩後に乳腺より得られる分泌液である。
初乳ホエイ	本品は、初乳から得たホエイ(*)である。
シロキクラゲ子実体エキス	本品は、シロキクラゲの子実体のエキスである。
真珠層タンパク	本品は、真珠母貝の真珠層から得られるタンパクである。
スキムミルク	本品は、脱脂した牛乳(*)の乾燥物である。
ステビアエキス	本品は、ステビアの地上部のエキスである。
セージ	本品は、セージの葉である。
セラック	本品は、ラックカイガラムシの分泌物である。
セラック脂肪酸アンモニウム	本品は、セラック(*)から得られる脂肪酸のアンモニウム塩である。
セラックロウ	本品は、漂白したセラック(*)のろう状物質である。
ダイズエキス	本品は、ダイズの種子のエキスである。
ダイズ根粒エキス	本品は、ダイズの根粒のエキスである。
ダイズ種子	本品は、ダイズの種子である。
ダイズ油不けん化物	本品は、ダイズ油脂肪酸の精製工程で得られるけん化されないダイズ油の画分である。
タイワンバナナ果実水	本品は、タイワンバナナの果実を水蒸気蒸留して得られる水相である。
脱脂卵黄	本品は、ニワトリの卵黄の脱水物から、脱脂して得られるものである。
竹酢液	本品は、竹を乾留して得られる液である。
デサミドコラーゲン	本品は、コラーゲン(*)のアミド基をカルボキシル基で置換したものである。
豆乳発酵液	本品は、ダイズの種子から得た豆乳を発酵して得られる培養液である。
トウモロコシ	本品は、トウモロコシの種子である。
トマト果実	本品は、トマトの果実である。
乳タンパクエキス	本品は、乳タンパク(*)のエキスである。
ニンニクエキス	本品は、ニンニクの鱗茎のエキスである。
パイナップル果実	本品は、パイナップルの果実である。
バクガ	本品は、オオムギの麦芽である。
バクガ液汁	本品は、部分的に発芽し、乾燥したオオムギの種子を絞った液汁である。
バクガエキス	本品は、部分的に発芽し、乾燥したオオムギの種子の水抽出物を濃縮して得られる濃色シロップである。
ハチミツ	本品は、ミツバチにより集められた蜜である。
ハトムギエキス	本品は、ハトムギの種子のエキスである。

バニラ種子	本品は、バニラの種子である。
パパイヤ	本品は、パパイヤの果実である。
ビターアーモンド核油	本品は、ビターアーモンドの核から得られる精油である。
ヒメマツタケ	本品は、ヒメマツタケの子実体である。
フィブロネクチン	本品は、結合組織、基底膜中、血漿及び他の体液中に存在する糖たん白質である。
ブドウ果汁	本品は、ブドウの果汁である。
ブラジルナッツ油	本品は、ブラジルナッツノキの種子から得られる脂肪油である。
プロコラーゲン	本品は、コラーゲン(*)の前駆物質である。合成過程で3重らせん構造の鑄型を与えるN末端とC末端のテロペプチドを含む。
ヘチマ	本品は、ヘチマの果実である。
ベニバナ花エキス	本品は、ベニバナの花のエキスである。
マカデミアナッツ油	本品は、マカデミアの種子から得られる脂肪油である。
マカロニコムギ種子エキス	本品は、の種子のエキスである。
マッシュルーム柄エキス	本品は、の子実体のエキスである。
マテチャ葉エキス	本品は、マテチャの葉のエキスである。
マナマコエキス	本品は、ナマコ的一种、マナマコの全体のエキスである。
マヨラナエキス	本品は、マヨラナの葉のエキスである。
マンゴスチン	本品は、次の化学式で表される有機化合物である。
マンナン	本品は、グルコース(*)、マンノース及びアセチルマンノースモノマーからなる天然多糖で、次の化学式で表される。
ミリストイルキチンPCA	本品は、ミリスチン酸(*)及び酢酸(*)とキトサンPCA(*)の縮合物である。
木酢液	本品は、木材を乾留して得られる液である。
モモ果汁	本品は、モモの果汁である。
ヤギ乳エキス	本品は、ヤギ乳(*)のエキスである。
ヨウ化加水分解エクステンシン	本品は、加水分解エクステンシン(*)とヨウ素の反応により得られるものである。
ヨーグルト	本品は、牛乳(*)を乳酸菌や酵母等により発酵して得られる乳製品である。
ヨクイニン	本品は、ハトムギの種皮を除いた種子である。
ヨモギエキス	本品は、ヨモギ、モウコヨモギ又はヤマヨモギの葉のエキスである。
ライチー果汁	本品は、レイシの果汁である。
ライム果汁	本品は、ライムの果汁である。
ライムギ	本品は、ライムギの種子である。
ライムギ種子エキス	本品は、ライムギの種子のエキスである。
ライムギ胎座培養エキス液	本品は、ライムギの胎座の細胞培養液から得られたエキスをろ過したものである。
ラッカイン酸	本品は、ラックカイガラムシから得られる色素であり、次の化学式からなる。
リンゴ果実	本品は、リンゴの果実である。
レイシ	本品は、マンネンタケである。
レタスエキス	本品は、レタスの葉のエキスである。
レモンエキス	本品は、レモンの果実又は果汁のエキスである。
ローヤルゼリー	本品は、ミツバチの咽頭腺からの分泌物である。
ロバ乳	本品は、ロバから得られる乳である。

## サイト構築と管理

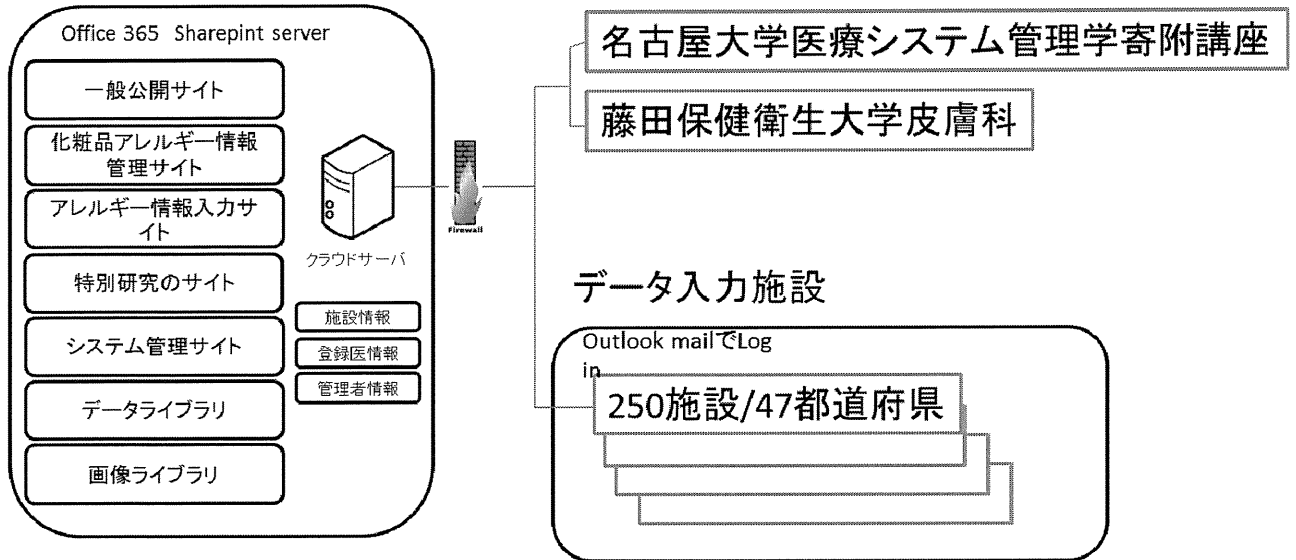


図 1. システムの構成図

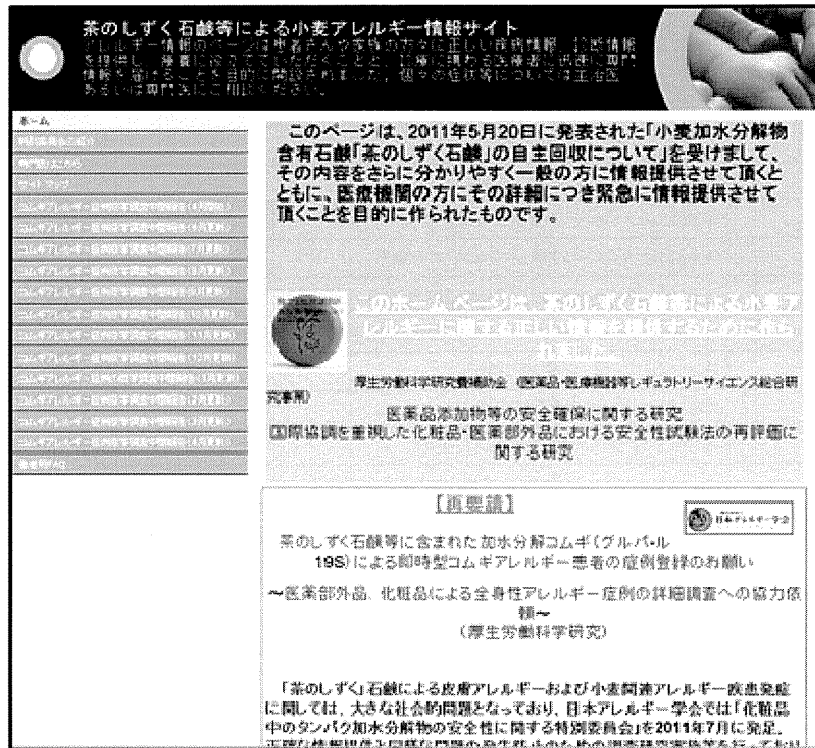


図 2. HHTP を用いた一般公開サイト

## 新規登録を希望される専門医の方へ

御協力いただける医師の方へ(PDF)

登録を希望する方は、以下の登録情報を入力してください。メッセージ欄に病院または診療所名を必ず記入ください。セキュリティを確保するために、後日、事務局から病院もしくは診療所に直接連絡をいたします。施設名および登録情報の確認が取れましたらメールアドレスにIDとパスワードをお送りします

### 登録依頼

\*姓(姓)

\*名(名)

\*電子メールアドレス

\*電話番号

\*フリガナ(フリガナ)

送信

図 3. 臨床医登録システム

化粧品アレルギー情報管理サイトへようこそ!

サイト上部にあるアレルギー情報登録サイトのタブをクリック、アレルギー患者の症例登録を行ってください。

このサイトは、グローバル19Sによる小麦アレルギーと診断された患者さんを医師が登録するサイトです。人数は1000~1500名程度と考えています。個人情報を連結可能匿名化し、特別委員会事務局として藤田保健衛生大学が管理番号を管理します。

このサイトは、厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)医薬品添加物等の安全確保に関する研究により作成されました。

予定表(特別感頁)の予定

2013年5月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

図 4. チームサイトのホーム



化粧品アレルギー情報・ホーム

TOPページに戻る 化粧品アレルギー情報 厚労省特別研究 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 このサイトを検索

症状登録票  
患者問診票  
各種情報(リアルタイム統計)  
チームサイト  
Home  
症例情報  
[新しいページの追加]

ライブラリ  
症状登録票  
患者問診票  
グラフ用  
症例情報

アンケート  
茶のしずくアンケート

ドキュメント

サイトコンテンツ  
患者アンケート  
症例統計  
緊急疫学調査  
グラフ用  
サイトのリソースファイル  
ドキュメント  
患者問診票  
症例情報  
症例登録票  
症状グラフ  
テスト  
サイトのページ  
Posts  
お問い合わせ  
茶のしずくアンケート

## アレルギー情報入力サイト

厚生労働省特別研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)  
医薬品添加物等の安全確保に関する研究

茶のしずく石鹸等に含まれた加水分解コムギ(グルパール19S)による  
即時型コムギアレルギー患者の症例を医師が登録するサイトです

### 各種登録

1. 症例登録票(医師が入力)
2. 患者問診票(医師が入力)
3. 患者アンケート(医師が入力)
4. 未確定症例検討
5. 症例情報(再診用)

一般公開サイトホーム(外部への発表サイト)

各種登録に関するご意見を投稿できます

メッセージを返信していただき

投稿

図 5. アレルギー情報入力サイト

依頼医師の情報				
記号		医療施設名	*	診療科
医師名		メールアドレス		
患者情報				
施設での患者登録番号(カルテ番号ではなく連結匿名化した番号)			記号	番号
来院日		年齢		性別
住所(都道府県)	選択...	市あるいは郡		選択して
茶のしずく石鹸等によるアレルギー症状を主訴に受診した年月				
使用したグルバール19Sを含む石鹸などの商品名			<input type="checkbox"/> (茶のしずく石鹸) <input type="checkbox"/> (不詳) <input type="checkbox"/> (その他 )	
症状	洗顔中もしくは洗顔直後の使用部位の皮膚症状 (問6参照)有無			選択
	小麦製品摂取によるアレルギー症状 (問6参照)有無			選択
検査所見	採血日			
	血清総IgE		U/ml	施行日
	特異抗原IgE (U/ml)	小麦	(class N)	施行日(yyyy/mm/dd)
		グルテン	(class N)	施行日(yyyy/mm/dd)
		ω5グリザニン	(class N)	施行日(yyyy/mm/dd)
		以下の項目は特別委員会に測定依頼した場合のみ、後日入力されます		
	グルバール19S	unit	結果 選択...	施行日(yyyy/mm/dd)
	その他			
	ブロッケンテスト茶のしずく石鹸		施行年月日( )	結果: ( )
	濃度( )		反応: 移行	長さ( )mm×長さ( )mm
濃性コントロール: ヒスタミン1%溶液		長さ( )mm×長さ( )mm		
濃性コントロール: 生理食塩水		長さ( )mm×長さ( )mm		
ブロッケンテストグルバール19S		施行日( )	結果: 移行 ( )	
濃度( )		反応: 移行	長さ( )mm×長さ( )mm	
濃性コントロール: ヒスタミン1%溶液		長さ( )mm×長さ( )mm		
濃性コントロール: 生理食塩水		長さ( )mm×長さ( )mm		
その他				
既往歴	「花粉症」 「アトピー性皮膚炎」 「喘息」 「蕁麻疹」 「その他( )			
特記事項				
特別委員会記入欄				
最終診断				
登録ボタン		右欄のファイル名で登録されますので必ずメモしてください		

図 6. 入力用単票

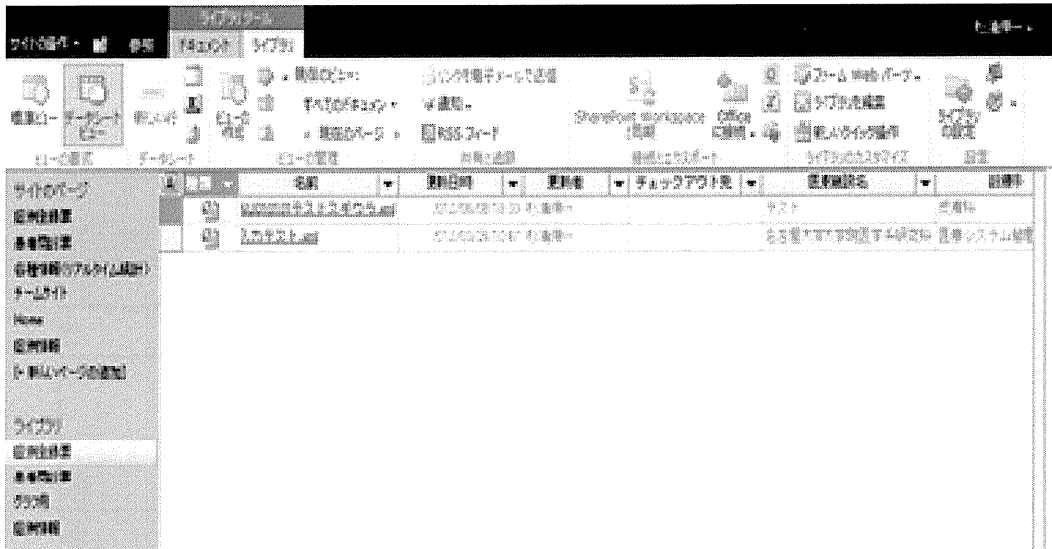


図 7. XML 形式によるファイル情報

100ページ印刷 | 化粧品アレルギー情報 | アレルギー研究 | 日本皮膚アレルギー科医会 | このサイトを検索

患者アンケート

患者アンケート

【問診票】(小麦摂取状況について)

患者様記入欄		本日の年月日	
イニシャル		生年月日 例:2001/03/14	
医師記入欄			
施設での患者登録番号 ※カルテ番号ではなく通称を付した番号			
施設記号		主治医名	
医療施設名		診療科	
メールアドレス			

※送信いただく際は、患者様のお名前を削ってください。

1. 現在小麦製品を食べていますか。

1. 食べている。⇒IIへお進みください。

2. 醤油などの調味料に含まれるもののみ。

3. 全く摂取していない(調味料も避けている。)

II. Iで「食べている」とお答えした方にお問います。

1. いつから摂取し始めましたか

平成年 月 日から

最初から摂取していない。

2. 何をどれくらい摂取していますか(りんごの程度・パスタ半分 など)

3. 小麦を摂取した時の事をお聞きます。

① 抗アレルギー薬を同時に内服していますか。

はい (薬剤名 )

いいえ

② 鎮痛薬を同時に内服しましたか。

はい (薬剤名 )

いいえ

③ 摂取した後に運動をしていますか。

はい (「日常動作程度はしている。」「運動している。」)

いいえ

4. 摂取した時に何かアレルギー症状は出現しましたか。

はい

いいえ

① その際に運動はしていましたか。

はい(日常動作程度 運動をした)

いいえ

② どのような症状でしたか。(該当するものを全てに○をつけて下さい)

アナフィラキシーショック  呼吸困難  蕁麻疹

眼の腫れ  痒み  発赤

鼻閉(鼻づまり)  鼻汁

吐き気  嘔吐(吐き出す)

腹痛  下痢

登録日時 右のファイル名で登録されます 2013-05-21

ご協力ありがとうございました。

図 8. 問診票の入力形式



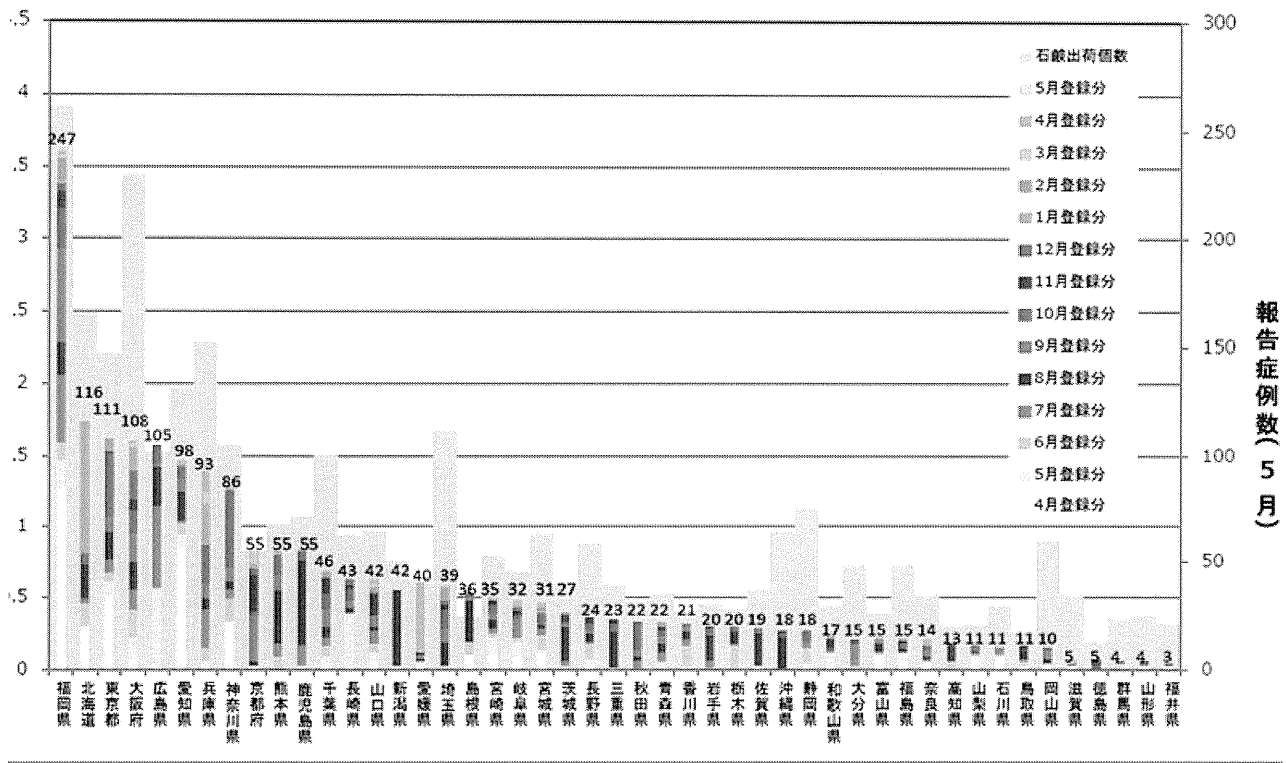


図 10. 都道府県別の発症患者数と石鹼の販売個数

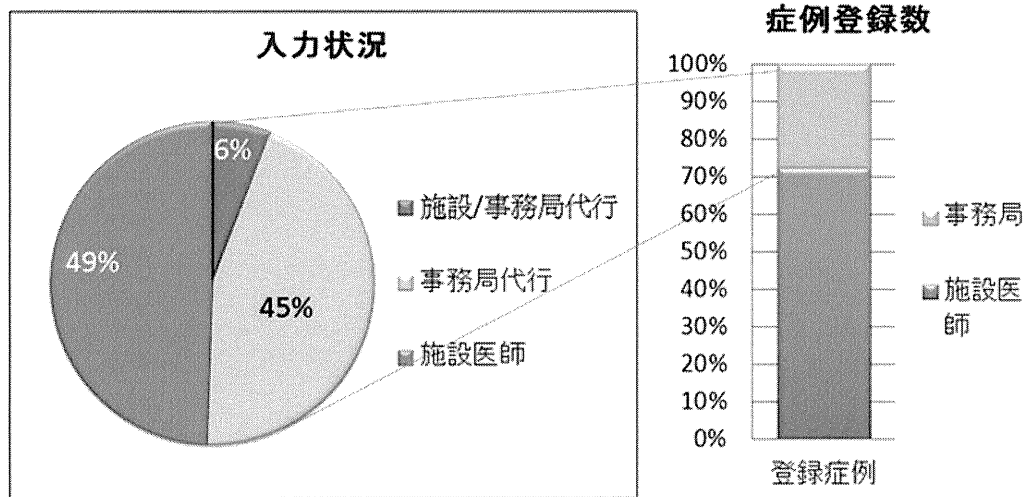


図 11. 症例の内訳

### III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
矢上 晶子, 松永 佳世子	加水分解コムギ含有 石鹼によるコムギア レルギーの疫学と社 会的意義	アレルギー・ 免疫	20(2)	224-232	2013





### Ⅲ. 加水分解コムギ含有石鹸による コムギアレルギーの疫学と社会的意義

Yagami Akiko

Matsunaga Kayoko

矢上 晶子\*<sup>1)</sup> 松永佳世子\*<sup>2)</sup>

\* 静岡保健衛生大学医学部皮膚科学 <sup>1)</sup> 准教授 <sup>2)</sup> 教授

#### Summary

近年本邦において、ある特定の加水分解コムギ末を含有した石鹸を使用した者が小麦摂取による即時型アレルギーを呈する症例が急増した。本疾患は、加水分解コムギ末（グルパール19S）を含む（旧）茶のしずく石鹸（（株）悠香）で洗顔することによって、グルパール19Sが経皮・経粘膜的に吸収され、それまでコムギアレルギーのなかった人にグルパール19Sに対する特異IgE抗体を産生し、これと交差反応する小麦摂取時にアナフィラキシー等の即時型アレルギーを引き起した。この一連の事象は、“経皮・経粘膜的に感作された食物アレルギー”として注目されるのみでなく、化粧品における即時型アレルギーの安全性評価の確立が急務であることを我々に気づかせた。今後、社会的な取り組みが進み、化粧品の安全性が確保されることを期待したい。

#### Key Words

加水分解コムギ末／コムギアレルギー／経皮経粘膜感作／疫学調査

#### はじめに

加水分解コムギ末とは、主に小麦不溶性蛋白質のグルテンを酵素や酸、アルカリで分解したものであるが、この処理によって乳化性や保湿性が顕著に増すことから、本邦に限らず化粧品に多用されてきた。近年本邦において、ある特定の加水分解コムギ末を含有した石鹸を使用した者が小麦摂取による即時型アレルギーを呈する症例が急増した<sup>1), 2)</sup>。これは、加水分解コムギ末（グルパール19S）を含む（旧）茶のしずく石鹸（（株）悠香）で洗顔することによって、グルパール19Sが経皮・経粘膜的に吸収され、コムギアレルギーのな

かった人にグルパール19Sに対する特異IgE抗体が産生され、これと交差反応する小麦摂取時にアナフィラキシー等の即時型アレルギーを引き起こされることとなった。

本稿では、（旧）茶のしずく石鹸により誘発された即時型アレルギーの疫学調査を行ってきた、日本アレルギー学会「化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会」で得られた情報を報告する。本稿における内容は、日本アレルギー学会の以下のウェブサイトに掲載されており、これらの情報は毎月更新されているので参照されたい（2012年12月時点 [http://www.jsaweb.jp/modules/news\_topics/index.php]）。

### Ⅲ. 加水分解コムギ含有石鹼によるコムギアレルギーの疫学と社会的意義

#### I. 「茶のしずく石鹼」

問題となった加水分解コムギ末であるグルパール19Sは、2004年3月から2010年9月26日までに製造された(旧)茶のしずく石鹼に含有されていた。その後はグルパール19Sに代わり、同年12月7日までプロモイス、12月8日から2011年6月19日まで加水分解シルクが配合されていた。同年6月20日以後は、加水分解物は除去された(現)茶のしずく石鹼が販売されている。なお、グルパール19Sを含有した製品は4,650万8千個が延べ466万7千人に販売された。本製品の販売は登録制になっているため、これらの情報を把握することが可能であった。

#### II. 日本アレルギー学会

##### 「化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会」

日本アレルギー学会は、大きな社会的問題となった「茶のしずく石鹼」による皮膚アレルギーおよび小麦関連アレルギー疾患発症に関して、本件に対しての患者向け、医療従事者向け、一般国民向けに正確な情報提供を行うとともに、診療可能施設についての適切な選定と情報提供、さらには今後の同様な問題の発生防止のための調査研究の実施等を行うため2011年7月4日に本特別委員会を設置した(表1)。

表1 日本アレルギー学会  
化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会

	氏名	所属
委員長	松永 佳世子	藤田保健衛生大学医学部 皮膚科
委員	相原 道子	横浜市立大学附属病院 皮膚科
	池澤 善郎	国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科
	板垣 昭治	北海道文教大学 人間科学部健康栄養学科
	宇理須 厚雄	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 小児科
	加藤 善一郎	岐阜大学大学院医学系研究科 小児病態学講座(小児科)
	岸川 禮子	(独) 国立病院機構福岡病院 臨床研究部内科
	澤 亮	日本大学医学部 視覚科学系眼科学分野
	杉浦 伸一	名古屋大学 医療システム管理学寄附講座
	田中 宏幸	岐阜薬科大学 機能分子学大講座薬理学研究室
	千賀 祐子	島根大学医学部 皮膚科
	手島 玲子	国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部
	秀 道広	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 皮膚科学
	福島 敦樹	高知大学医学部 眼科
	福富 友馬	(独) 国立病院機構相模原病院 内科
	森田 栄伸	島根大学医学部 皮膚科
	矢上 晶子	藤田保健衛生大学医学部 皮膚科

(2012/12/7 現在)

日本アレルギー学会では、正確な情報提供を行うべく、特別委員会を設置した。その構成メンバーを示す。

([http://www.jsaweb.jp/modules/news\\_topics/index.php](http://www.jsaweb.jp/modules/news_topics/index.php) より)

表2 茶のしずく石鹸等に含まれた加水分解コムギ(グルパール19S)による即時型コムギアレルギーの診断基準

【確実例】

以下の1, 2, 3をすべて満たす。

1. 加水分解コムギ(グルパール19S)を含有する茶のしずく石鹸等を使用したことがある。
2. 加水分解コムギ(グルパール19S)を含有する茶のしずく石鹸等を使用して、以下のうち少なくとも一つの臨床症状があった。
  - 2-1. 接触蕁麻疹(使用後数分後から30分以内に痒み、眼瞼浮腫、鼻汁、膨疹など)が出現した。
  - 2-1. 小麦製品摂取後4時間以内に痒み、膨疹、眼瞼浮腫、鼻汁、呼吸困難、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、血圧低下などの全身症状がでた。
3. 以下の検査で少なくとも一つ陽性を示す。
  - 3-1. グルパール19S 0.1%溶液、あるいは、それより薄い溶液でプリックテストが陽性を示す。
  - 3-2. ドットプロット、ELISA、ウエスタンプロットなどの免疫学的方法により、血液中にグルパール19Sに対する特異的IgE抗体が存在することを証明できる。
  - 3-3. グルパール19Sを抗原とした好塩基球活性化試験が陽性である。

【否定できる基準】

4. グルパール19S 0.1%溶液でプリックテスト陰性

【疑い例】

1, 2を満たすが3を満たさない場合は疑い例となる。

ただし、1, 2を満たすが3を満たさない場合でも、血液特異的IgE抗体価検査やプリックテストでコムギまたはグルテンに対する感作が証明され、かつω5グリアジンに対する過敏性がないか、コムギおよびグルテンに対する過敏症よりも低い場合は強く疑われる例としてよい。

【備考】免疫学的方法による診断は「日本アレルギー学会 化粧品中のタンパク分解物の安全性に関する特別委員会」まで連絡ください(hifuka1@fujita-hu.ac.jp 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学講座内 担当秘書 渡邊)

表1で紹介した委員会で、加水分解コムギ(グルパール19S)による即時型コムギアレルギーの診断基準を作成した。

(日本アレルギー学会 化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会作成)

### Ⅲ. 茶のしずく石鹸等に含まれた加水分解コムギ(グルパール19S)による即時型コムギアレルギーの診断基準

本委員会が作成した診断基準は表2のごとくである。

### Ⅳ. 「茶のしずく石鹸による小麦アレルギー情報サイト」を用いた疫学調査の方法

この疫学調査は、加水分解蛋白含有化粧品の障害実態の把握、および茶のしずく石鹸の障害実態

の把握を目的に厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)により行っている研究である。ウェブサイト上に症例登録サイトを作成し、厚生労働省に症例を報告し、今回のシステムに登録を承諾された施設が調査協力施設となり登録を開始した。本登録のシステムは2012年3月12日に公開され、症例の登録は、診療した医師からの登録とした(図1, 2)。登録した医師は自分のデータのみ確認、追加、変更でき、管理者のみが全体を把握できるシステムでセキュリティは確保されている。

